

# 1. 評価結果概要表

評価確定日 平成19年9月19日

## 【評価実施概要】

|               |                                     |
|---------------|-------------------------------------|
| 事業所番号         | 4072400320                          |
| 法人名           | 社会福祉法人 明筑会                          |
| 事業所名          | グループホーム ひかり                         |
| 所在地<br>(電話番号) | 福岡県筑後市尾島510番地1<br>(電話) 0942-53-0040 |
| 評価機関名         | 社団法人 福岡県介護福祉士会                      |
| 所在地           | 福岡市博多区博多駅前中央街7-1シック博多駅前ビル5F         |
| 訪問調査日         | 平成19年7月28日                          |

## 【情報提供票より】(平成 19年 6月 30日事業所記入)

### (1) 組織概要

|        |                     |
|--------|---------------------|
| 開設年月日  | 平成 15年 10月 20日      |
| ユニット数  | 1 ユニット              |
| 職員数    | 8 人                 |
| 利用定員数計 | 9 人                 |
| 常勤     | 7人, 非常勤 1人, 常勤換算 7人 |

### (2) 建物概要

|      |  |  |
|------|--|--|
| 建物形態 | 併設 <input checked="" type="radio"/> 単独 <input type="radio"/> | 新築 <input checked="" type="radio"/> 改築 <input type="radio"/> |
| 建物構造 | 鉄骨平屋造り   |  |
|      | 1 階建ての   | 1 階 ~ 1 階部分  |

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |   |                |  |
|---------------------|---|----------------|--|
| 家賃(平均月額)            | 30,000又は31,000円                               | その他の経費         | 有  |
| 敷金                  | 有 (円)   | 無              |  |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | <input checked="" type="radio"/> 有 (100,000円) | 有りの場合<br>償却の有無 | <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 |
| 食材料費                | 朝食  | 円              | 昼食 円   |
|                     | 夕食  | 円              | おやつ 円  |
|                     | または1日当たり 900円                                 |                |  |

### (4) 利用者の概要 (平成 19年 6月 30日現在)

|       |         |         |         |
|-------|---------|---------|---------|
| 利用者人数 | 9 名     | 男性 1 名  | 女性 名    |
| 要介護1  | 2 名     | 要介護2    | 3 名     |
| 要介護3  | 3 名     | 要介護4    | 1 名     |
| 要介護5  | 0 名     | 要支援2    | 0 名     |
| 年齢    | 平均 88 歳 | 最低 78 歳 | 最高 99 歳 |

### (5) 協力医療機関

|         |                   |
|---------|-------------------|
| 協力医療機関名 | 新船小屋病院、山崎医院、なかお歯科 |
|---------|-------------------|

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

広々とした田園風景をバックに併設の船小屋荘の隣りに、同じ敷地内だが桜並木や散歩道を隔だてて、一定間隔を設けて建てられた平屋造りの施設である。玄関前にベンチや昔なつかしい「ばんこ」が置いてあり利用者の好評を得ている。入浴に日時の制限はなく個人の希望時に入浴出来るよう支援している。又利用者の体形に合わせて腰を曲げずに手入れが出来る花壇や鶏小屋の世話を職員と共にし、日常の生活に自然に無理なく楽しめるよう配慮がなされていて利用者、職員共々落ち着いた静かな中にも明るい表情で日常生活が営まれている。

## 【重点項目への取り組み状況】

|       |   |
|-------|---|
| 重点項目  | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)  |
|       | 前回の評価に対して改善の取り組みを行っている。   |
| 重点項目① | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)<br>運営者、管理者、職員はサービス評価の意義や目的を理解し、会議や内部研修時に全職員に伝え全員で自己評価をして外部評価の結果を踏まえ改善計画の作成に取り組んでいる。   |
| 重点項目② | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)<br>運営推進会議は利用者、家族、市行政、民生委員、地元住民の参加を得て定期的に実施されている。サービスの状況や事業計画を報告し、認知症の理解が得られるよう意見、要望を聞きサービスの向上に活かしている。市町村との連携の重要性を十分に認識し相談が出来る関係が出来ている。ホームの実状を伝え助言を得て共にサービスの質の向上に取り組んでいる。 |
| 重点項目③ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8, 9)<br>ホームの苦情相談窓口、並びに公的窓口を電話番号と共に重要事項説明書に明記している。利用者の暮らしや健康状態の報告は家族等の訪問時や、デンワ連絡等で行っている。ホーム便りには利用者の担当職員が手書きで個別の状況を書き添えている為家族より好評を得ている。  |
| 重点項目④ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)<br>地元での餅撒き、小学校、幼稚園、保育園、老人クラブの行事へ参加したり、ボランティアの大学生による読み聞かせ訪問の受け入れや散歩時には職員と共に地元の方への挨拶や談話を心がけ、日常的な交流に努めている。  |

## 2. 調査結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

| 外部                 | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                    |
|--------------------|----|---|--|------|---|
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |    |   |  |      |   |
| 1. 理念と共有           |    |   |  |      |   |
| 1                  | 1  | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている                  | 利用者がその人らしく穏やかに安心して暮らせるように、事業所独自の理念をつくりあげている。   | ○    | 地域に密着し、交流を計りながらのサービスが行われているので、方針として理念に加えられることが望まれる。 |
| 2                  | 2  | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                                     | 朝礼時に全職員で唱和している。理念の実践について、具体的に実践したことを自己申告に書くなどして意識づけしている。   |      |   |
| 3                  | 5  | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている               | 地域の夏祭りに参加したり、小学校、幼稚園、老人クラブでの行事に楽しく参加している。散歩時にホーム周辺の方と挨拶を交わしたり、ボランティアの受け入れなど地域の人達との交流を図っている。                  |      |   |
| 4                  | 7  | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                 | 運営者は評価の意義や目的を理解しカンファレンスや内部研修に取り入れ、全職員で取組み外部評価の結果を基に改善計画を作成している。  |      |   |
| 5                  | 8  | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 利用者、家族、市行政、民生委員、地域住民の参加を得て施設長及び職員も参加して実施されている。会議ではホームの現状報告をして、意見の交換を行っている。その内容報告書を全職員で検討して、サービスの質の向上に活かしている。 |      |   |
| 6                  | 9  | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                  | 毎月開催される市主催の介護保険事業者連絡会へ出席することで、他事業所の取り組みや状況などの情報を得たり意見の交換をしている。   |      |   |

| 外部              | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|----|---|--|------|----------------------------------|
| 7               | 10 | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している                                     | 現在、成年後見制度の利用者はいない。職員は、ホーム内研修や、外部研修により権利擁護に関する制度を理解している。  |      |                                  |
| 4. 理念を実践するための体制 |    |   |  |      |                                  |
| 8               | 14 | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている   | 家族が訪問時に報告したり、ホームだよりに各担当者が手書きで書き込み郵送している。また、必要に応じて電話での報告も行っている。金銭管理については、家族が訪問時に金銭出納帳の取支を確認し、サイン等をされている。職員の異動は家族の訪問時等、できるだけ早い機会に報告している。 |      |                                  |
| 9               | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている   | ホーム苦情相談窓口並びに公的窓口を重要事項説明書に明記すると共に、玄関に意見箱を設置している。家族訪問時には、親しく会話する中で意見や不満等を言ってもらい、職員間で検討し改善している。   |      |                                  |
| 10              | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている                                | 職員の異動については利用者が不安を感じる事の無いように、馴染みの職員と共にコミュニケーションを多く持つように心掛け、利用者との良好な関係づくりが出来るよう努めている。  |      |                                  |
| 5. 人材の育成と支援     |    |   |  |      |                                  |
| 11              | 19 | ○人権の尊重<br>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している | 職員の募集・採用では性別や年齢にこだわらず採用しており、現在20代～50代の職員が一人ひとりの能力を十分に発揮して勤務している。職員の健康維持やリフレッシュを考えて休暇(一週間)をとる体制を整えており、職員からの好評を得ている。                     |      |                                  |
| 12              | 20 | ○人権教育・啓発活動<br>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる  | 管理者は人権についての研修に参加し、全職員へ内部研修で伝達すると共に、朝礼時にも話す機会を設けている。また、職員が利用者一人ひとりに対して尊重した言葉づかいや態度で接するよう常に気を配っている。                                      |      |                                  |
| 13              | 21 | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている   | 職員は外部研修に順次参加しており、研修内容を内部研修時に伝達している。自己研修については参加できるように勤務体制を整えている。  |      |                                  |

| 外部                                   | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|----|--|---|------|----------------------------------|
| 14                                   | 22 | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている      | ホームは県のグループホーム協議会に加入しており、管理者、職員は協議会主催の研修に参加している。また、地域ネットワークでの勉強会に参加し、他のグループホーム職員との交流を図り、サービスの質の向上に取り組んでいる。 |      |                                  |
| <b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>         |    |  |   |      |                                  |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応            |    |  |   |      |                                  |
| 15                                   | 28 | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入居前1日30分程度、数回レクリエーションや茶話会などへ参加して、雰囲気に馴染めるよう家族と相談しながら工夫している。希望により体験入居も受け入れている。                             |      |                                  |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援            |    |  |   |      |                                  |
| 16                                   | 29 | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                       | 職員と一緒に食事の準備をしてくれたり、旬の食材のこと、調理の方法を利用者から教わるなど、日常生活を共有し支え合う関係を築いている。   |      |                                  |
| <b>III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |    |  |   |      |                                  |
| 1. 一人ひとりの把握                          |    |  |   |      |                                  |
| 17                                   | 35 | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 日々のかかわりのなかでの言動や、表情等で察知したり、また家族の訪問時には、生活習慣や得意なこと等の情報を得るように努めている。   |      |                                  |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し       |    |  |   |      |                                  |
| 18                                   | 38 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している        | 日々の暮らしの中での気づきや、本人、家族の意向等を大切に、心身のアセスメントをもとに全職員と関係者の意見を聴きながら介護計画書を作成している。                                   |      |                                  |
| 19                                   | 39 | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している    | 日々の一人ひとりのケア記録により、状態の変化時には見直しを行い、また本人や家族の要望に応じて必要な関係者と話し合い、現状に即した介護計画の作成をおこなっている。                          |      |                                  |

| 外部                               | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|----|---|--|------|----------------------------------|
| 20                               | 41 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                             | 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、受診時や外泊時等の送迎の支援を行っている。  |      |                                  |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働      |    |   |  |      |                                  |
| 21                               | 45 | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している             | 本人、家族の希望を尊重し、安心して日々の生活が送れるように支援している。月2回の訪問診療等も実施し、健康管理を行っている。                                |      |                                  |
| 22                               | 49 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 現在対象者は無いが、重度化や終末期のあり方については、本人や家族と折にふれ話し合いをしている。本人や家族の意向を尊重し主治医との連携を密にし、何時でも対応できるように体制を整えている。 |      |                                  |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |    |   |  |      |                                  |
| 1. その人らしい暮らしの支援                  |    |   |  |      |                                  |
| (1)一人ひとりの尊重                      |    |   |  |      |                                  |
| 23                               | 52 | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                          | 利用者には全職員が親しく、明るく接し良い雰囲気作りを心がけている。個人情報の取り扱いについては十分に気をつけている。                                   |      |                                  |
| 24                               | 54 | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している           | 起床時間や入浴についても、利用者一人ひとりの生活習慣を大切に、でき得る限り希望に添えるように支援している。  |      |                                  |
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援     |    |   |  |      |                                  |
| 25                               | 56 | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている                | 利用者と職員が楽しみながら一緒に食事をしている。準備や後片付けなど、個々の能力に応じて職員と共に行っている。                                       |      |                                  |



| 外部                            | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|----|---|---|------|----------------------------------|
| 26                            | 59 | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している                             | 入浴時間に制限は無く、一人ひとりの希望に添っていつでも入浴できる体制を整えている。   |      |                                  |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |    |   |   |      |                                  |
| 27                            | 61 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている                           | 鶏小舎の世話、花壇の手入れなどが得意な方が職員と一緒にったり、季節ごとの花見など気晴らしの支援に取り組んでいる。                                  |      |                                  |
| 28                            | 63 | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している   | 天気の良い日には、利用者の希望を聞き、買い物や散歩など戸外に出かける支援を行っている。   |      |                                  |
| (4) 安心と安全を支える支援               |    |   |   |      |                                  |
| 29                            | 68 | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる                                    | 鍵はかけておらず、いつでも出入り自由の安心した空間があり、外出の気配が感じられた場合は、職員と一緒にして周辺を散歩したり、雑貨店に行ったりして気持ちを落ち着かせるようにしている。 |      |                                  |
| 30                            | 73 | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている                                | 消防署の指導の下、地域の方の協力を得て定期的に訓練を実施している。   |      |                                  |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援    |    |   |   |      |                                  |
| 31                            | 79 | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 食事の摂食量や水分摂取量を、毎食時、おやつの際にチェックして記録に残し、全職員が状況を把握している。体調不良時には状態に応じて調理方法を工夫し、栄養面のバランスに気をつけている。 |      |                                  |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり       |    |   |   |      |                                  |
| (1) 居心地のよい環境づくり               |    |   |   |      |                                  |
| 32                            | 83 | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居間はゆったりとしたスペースで大きな窓からは、田園風景が望まれ、各所にはくつろげるソファを設置し、庭には屋外用ベンチを置き、玄関や建物の周囲には花が植えられて季節感が漂っている。 |      |                                  |

| 外部 | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                           | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|----|----|---|---|------|----------------------------------|
| 33 | 85 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>利用者が在宅時からの馴染みの家具や生活用品が持ち込まれ個性的な居心地の良い居室づくりがなされている。</p> |      |                                  |